



那覇 圏版



環境保全と地域振興の関わりについて意見を述べる参加者ら
＝17日、那覇市の牧志駅前ほしぞら公民館

「湿地のツーリズムで人と自然と地域の元氣回復をめざす」をテーマにしたシンポジウム(主催・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議)が17日、那覇市の牧志駅前ほしぞら公民館で開かれた。ラムサール条約が1971年に制定されて40周年を迎えたことを受け、同条約に加盟した湿地を持つ自治体の首長や行政、団体などが参加。一定のルールのもとで湿地を地域活性化に生かすことが大切など環境保全と地域振興の関わりについて議論した。

ラムサール条約 40年記念シンポジウム 保全との両立探る

名執芳博日本国際湿地保全連合常務理事は同条約の「ワイズユース(賢明な利用)」の考え方や、来年の「世界湿地の日」のテーマ「湿地とツーリズム」を挙げ、湿地を観光に生かす観点の大切さを訴えた。

琵琶湖に面し「びわ湖源流の郷(さと)」を掲げ地域振興を図る滋賀県高島市の西川喜代治市長は、同市農産物へのブランド認証などの取り組みを紹介した。「豊かな自然が育んだ安心、安全な産物を高島ブランドとして確立し、全国に向け販売促進したい」と語った。



松田 啓さん(34)

首里城祭 実行委事務局で

ハイサイ

○28日から11月3日に催される首里城祭の実行委員会事務局として企画、運営など全般に携わる。担当は今年で3年目。(NHK)のテネスト効果か、琉球王朝絵巻行列の参加申し込みが例年以上に好調だった」と笑顔。

昼と夜の魅力PR

世界遺産10周年記念で盛大に催した昨年の規模を維持する。中でもキャンドルナイトは「県内では珍しいこともあり県民の満足度が高かった」という。「昼と夜、両方の首里城が楽しめる。この日のために1年前から用意してきた。これを機会に、県民の皆さんにも見に来てほしい」と呼び掛けた。

困窮世帯の進学支援

学習教室開設 中3生に無料授業



生活保護を受給する世帯の中学生を対象にした那覇市学習支援教室のテープカット
＝19日、那覇市

生活保護を受給している世帯の中学生を対象に、19日、那覇市内で行われた。那覇市の高校進学支援プログラムの一環として、NPO法人エンカレと話し、授業は平日

ツツ(坂晴紀理事長)に同教室の運営を委託。13日から授業は始まり、中学3年生の約30人が学んでいる。授業料は無料。開塾式で仲村家治副市長は「生活保護受給世帯の子どもの高校進学率は、そうでない世帯の子どもと比べて低い。子どもたちが経済的理由で進学を諦めることを避けたい」とあいさつした。

照屋菜菜教室長は「子どもたちには自立学習する力を身に付けてほしい。社会に出ても自分で考え行動できるように育てたい」と話した。授業は平日

の清掃活動など、教育効果も踏まえた取り組みを説明した。

このほか、縦割り行政の弊害や、環境保全と地域振興を両立する難しさなどを指摘する声もあった。



オリジナル絵本を贈られて喜ぶ避難家族(前列)と、プレゼントした糸満高校ボランティア同好会(後列)＝19日、那覇市総合福祉センター

自費で作ったオリジナル絵本4冊を寄贈した。同校ボランティア同好会は、東日本大震災の被災地に義援金を送るため、アルミ缶を集め換金し、15日、那覇市総合福祉センターで、100名以上の児童にプレゼントした。

「被災地の子どもたちが成長するにあたって英語も学べるようにと英語で表記した」

親子料理大会 金城さん優勝

沖繩地区予選 第5回ワイズガス「全国親子クッキングコンテスト沖繩地区予選会」(沖繩ガス主催)が1日、那覇市大道の専門学校大育で開催された。県内から小学生の親子8組が参加し、自慢の家庭料理を披露した。ホテルの料理長や調理師らによる審査の結果、八重瀬町の金城ひとみさん(36)、楓さん(9)親子が優勝した。



参加者は手際よく料理を作り、全組が60分の優勝した金城ひとみさん(前列右から3人目)と楓さん(同4人目)親子ら参加者11日、那覇市の専門学校大育

ピックアップ

妊産婦栄養相談
28日午後1時半から4時半まで、那覇市金城の市保健センターで。妊産婦の健康について